牛久沼
食べる・買う
見る・遊ぶ
歴史・行事
イベント

龍ケ崎

龍のふるさと

茨城県龍ケ崎市
観光ガイドマップ

龍ケ崎市マスコットキャラクター

まいりゅう MAIRYU

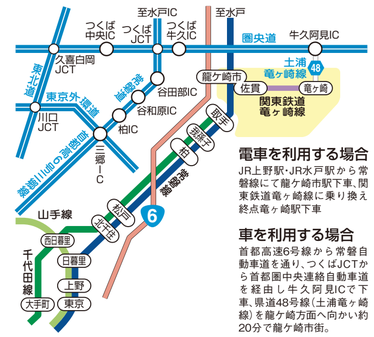
【プロフィール】
愛　称：まいりゅう
性　別：男の子
年　齢：450歳ぐらい
…でも、永遠の子ども
好きな食べ物：龍ケ崎コロッケ
趣　味：電鉄（関東鉄道竜ヶ崎線）に乗ること
特　技：ハート形の鼻からしあわせフェロモンを放出すること

©龍ケ崎市

龍ケ崎市を代表する伝統行事「撞舞（つくまい）※1」と「龍ケ崎（りゅうがさき）」を組み合わせて「まいりゅう」です。鼻のハートは地域のふれあいの温かさを表しています。
現在、舞男※2になるための修行中です。

※1　八坂神社祇園祭の最終日、雨乞いや豊作祈願などの目的で行われる伝統行事。鬼娃の面を付けた舞男（まいおとこ）が、高さ14メートルの撞柱（つくばしら）に登り、さまざまな妙技を繰り広げます。国選択・県指定無形民俗文化財。
※2　撞舞のときに、たっぷり特に娃の面をかぶって妙技を行う男性。

アクセス



電車を利用する場合
JR上野駅・JR水戸駅から常磐線にて龍ケ崎市駅下車、関東鉄道竜ヶ崎線に乗り換え終点竜ヶ崎駅下車

車を利用する場合
首都高速6号線から常磐自動車道を通り、つくばJCTから首都圏中央連絡自動車道を経由し牛久阿見ICで下車、県道48号線（土浦竜ヶ崎線）を龍ケ崎方面へ向かい約20分で龍ケ崎市街。

観光のお問い合わせは　☎0297-64-1111

龍ケ崎市市民経済部商工観光課
龍ケ崎市公式HP　https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp
e-mail　syouko@city.ryugasaki.lg.jp

令和6年2月発行

牛久沼

牛久沼
MAP E-4
白鳥がたたずむ憩いの場

鬼怒川の氾濫によってできた沼で、太田沼とも呼ばれていました。周囲20.0km、面積6.5kmの南北に広がる沼は、湖面に水草が繁茂するため、ウナギ・コイなどが棲息し、かつてはジュンサイの産地として有名でした。また、1963年に皇居から譲り受けたつがいの白鳥が順調に育ち、今では20数羽が優雅に水面を泳ぎ、さながら「白鳥の湖」の風致を添えています。最近は、ブラックバス釣りやウインドサーフィンを楽しむ人で賑わいます。また隣接する牛久沼水辺公園は白鳥を眺めながらくつろげる市民の憩いの場で、国道6号側から筑波山を背にした沼の眺めは絶景。天気のよい日には富士山も見られます。

うな丼発案者 大久保今助と牛久沼
MAP E-4
うな丼発祥の地

江戸時代後期、江戸日本橋堺町に芝居の興行主で、鰻の大好きな大久保今助という人物がいました。
その今助が故郷である現在の茨城県常陸太田市に帰る途中、水戸街道を牛久沼まで来て、茶屋で渡し船を待っているときに鰻が食べたくなり、蒲焼きとドンブリ飯を頼みました。
ところが、注文した品が出てきたとき「船が出るよー」の声。今助はドンブリと皿を借り、ドンブリ飯の上に蒲焼きののった皿をポンと逆さにかぶせて船に乗り込み、対岸に着いてから土手に腰をおろして食べたところ、蒲焼きが飯の温度で蒸されていて、より柔らかくなり、飯にはタレがほどよくしみこんで、これまでに食べたどこの鰻よりもうまかった。というわけで、そのことを知った茶屋が「うな丼」を売り出し、やがて水戸街道の名物になりました。

※諸説あり

食べる・買う

コロッケで街おこし
MAP H-7

平成12年6月に、市街地活力センター まいん（現まいん健康サポートセンター）が中心市街地にオープンしたことをきっかけに、商工会女性部の有志が衰退した商店街に活気と元気を呼び戻そうと、まいんの手作りコロッケを販売したところ、家族連れの長蛇の列を作るなど大人気となりました。
まいんコロッケは、ポーク・カレー・黒豆・れんこん・おさつ・りんご・かぼちゃ・ライス・メンチとバリエーション豊かです。すべての素材は地元産にこだわり、特にメンチは茨城産ブランド豚肉ローズポークを100%使用するなど、安全で安心なコロッケを提供することを モットーにしています。また、この取り組みに賛同した市内の飲食店がコロッケクラブ龍ケ崎を発足し活動しています。

龍ケ崎トマト
甘さと旨味と酸味のバランスが良いご当地トマト

龍ケ崎トマトは「レディーファースト」と呼ばれるファーストトマトで、先が尖って筋が入っているのが特徴です。熟練の技術「しめ作り（極力水を控える栽培方法）」により、果肉が多く食味が非常に良いことに加え、甘さと旨味と酸味のバランスが良い人気のトマトです。
高品質で信頼性・安全性が市場で高く評価された県を代表する青果物産地として「茨城県銘柄産地指定」の認定を受けています。

米

肥沃な土壌と豊かな水資源、そして温暖な気候に恵まれた龍ケ崎市は、古くから稲作が盛んな地域で、現在でも市全体面積の3割で稲作が行われています。各農家こだわりの栽培方法で丹精込めて育てた米は、土壌のわずかな違いも影響してそれぞれ違いのある味わいです。無農薬栽培や農薬・化学肥料を5割以上低減した栽培により「特別栽培米」の認証を受けたコシヒカリは、龍ケ崎市ブランド農産物に認定しています。

農産物等直売所「たつのこ産直市場」
MAP G-6

龍ケ崎市馴馬町2618
☎0297-62-0715
開館:AM10:00～PM6:00
休:毎週月曜・火曜及び年末年始（12月29日～1月3日）

龍ケ崎市内で丹精込めて生産された新鮮で安全安心な季節の農産物が豊富に取り揃っています。また、龍ケ崎市観光物産協会を中心とした魅力ある特産品も販売していますので、ぜひお立ち寄りください。

観光物産センター「まいりゅうショップ」
MAP D-11

龍ケ崎市佐貫町645-1
関鉄佐貫ビルⅡ1階
☎0297-94-1093
開館:平日AM10:00～PM6:00
土日・祝日AM10:00～PM5:00
休:月曜（月曜が祝日の場合は翌日）、1月1日～3日

市の観光スポットや見どころの案内及び市の行政情報等の紹介と交通案内をしています。また、多くの特産品、物産品の展示販売もしていますので、ご自宅用、ご贈答用、お土産にぜひご利用ください。

見る・遊ぶ

龍ケ岡公園
MAP G-5
たつのこやまから全長30mのすべり台が自慢
龍ケ崎市中里3-1

龍ケ崎市森林公園
MAP F-8
フォレストアドベンチャーやキャンプなどが楽しめる公園
龍ケ崎市泉町1966
※再整備中
R6年 夏一部オープン
R7年4月 グランドオープン

フォレストアドベンチャーやトレイルアドベンチャーなど、身体を使って森を感じ・楽しめるアスレチック施設や、バーベキューが楽しめるほか、オートキャンプ場などもあり、年間を通して子どもから大人まで一日中楽しめます。また、春には桜が咲き誇ります。

北竜台公園
MAP F-6
グラウンド併設
龍ケ崎市小柴1-10-4

自然の起伏を生かした広大な公園。龍ケ崎ニュータウン北竜台地区にあり、グラウンドを併設しており、気軽にスポーツを楽しむこともできます。

蛇沼公園
MAP E-6
自然環境を生かした公園
龍ケ崎市長山8-20

季節の表情を映し出す園内をゆっくり流れる小川や既存の樹林地など、自然の姿を多く残した公園。隣接する細長い蛇形をした神秘的な蛇沼は、「茨城の自然100選」のひとつにもなっています。

農業公園豊作村
MAP F-10
龍ケ崎市板橋町440
☎0297-60-1720
休:月曜（月曜が祝日の場合は翌日）

全134区画のレンタルファームがあり、年間7,500円で利用できます。また、季節に応じた旬の野菜などを収穫できる農業体験事業も行っています。自然豊かな環境で、日常味わえない体験をしてみませんか。

総合運動公園
MAP F-8
ニューライフアリーナ龍ケ崎
龍ケ崎市中里3-2-1
流通経済大学
龍ケ崎フィールド
龍ケ崎市中里2-1-7
TOKIWAスタジアム
龍ケ崎
龍ケ崎市松ケ丘2-16-1
《共通》☎0297-64-8674
休:月曜（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始
AM9:00～PM9:00（受付）

ニューライフアリーナ龍ケ崎は、大小の体育館、プールなどを備えたスポーツ施設。屋外流水プールとウォータースライダーは子どもたちに大人気。流通経済大学龍ケ崎フィールドは、全天候型舗装・1周400メートルトラック・8レーンを備えた本格的な陸上競技場。競技場の外を1周できるジョギングコースは市民の憩いの場でもあります。
TOKIWAスタジアム龍ケ崎は、電光掲示板やナイター設備を有する、両翼100mの本格的な野球場です。

竜ヶ崎飛行場
MAP H-10
龍ケ崎市半田町3177
☎0297-62-1271

昭和40年に開設された小型機専用の飛行場で、遊覧飛行等が楽しめ、操縦免許も取得できます。また、全国各地の防災ヘリ等の訓練拠点として重要な飛行場になっています。

流通経済大学 三宅雪嶺記念資料館
MAP G-7
龍ケ崎市120
☎0297-60-1808
AM10:00～PM4:00
事前予約制
休:日曜、祝日、年末年始

三宅雪嶺（みやけ・せつれい）は、明治から昭和にかけて活躍した、哲学者・評論家です。雑誌「日本人」を創刊し、欧化主義と藩閥政治を批判しました。社会時評や人生論なども数多く発表し、文化勲章も受章しています。流通経済大学には、雪嶺の没後、家族や友人に保管されたり散逸したりしていたさまざまな資料（書籍・書簡・収集品など）が集められています。書籍などのほか、有名な「フシィンクス前の遺跡使節団」の写真など、さまざまな資料があります。ぜひ一度ご来館ください。

式秀部屋
MAP F-5
龍ケ崎市佐貫4-17-17
☎0297-66-9836

元幕内力士・北桜の式守秀五郎氏が親方を務める相撲部屋です。個性的なしこ名で有名な所属力士たちは、「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに日々稽古に励んでいます。また、式秀親方は平成26年から「龍ケ崎ふるさと大使」を務めており、子どもの相撲体験教室や地元のイベントに出演するなど、地域に根差した活動をしています。稽古見学を希望する方は、事前にFAXにてお問い合わせください。

歴史・行事

撞舞
MAP G-7
国選択・県指定無形民俗文化財

7月下旬に3日間行われる八坂神社祇園祭の最終日夕刻、市内根町の撞舞通りで行われるのが撞舞です。
撞舞は、高さ14mの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたっつけ袴に娃の面をかぶった「舞男」が登ります。柱の頂上に俵ボッチ120枚でつくられた円座があり、そこで「舞男」は弓を引き、東西南北に向かって矢を放ちます。続いて、逆立ちしたり仰向けになったりと妙技の限りをつくした曲芸を見せて下におります。
この撞舞には、雨乞いや豊作祈願、または疫病よけの意味があるといわれ、舞男が柱の上で四方に放った矢を拾った人は1年間災厄を免れるとされています。国選択・県指定無形民俗文化財に登録されています。

八坂神社と行事
MAP H-7
本殿及び境内のケヤキは市指定文化財
龍ケ崎市4279
☎0297-62-6284

文治年間（1185～1190）、領主下河辺政義が、龍ケ崎の開拓にあたり、農民を移住させた際、農民の心の拠り所だった貝原塚八坂神社の分社を、現在の根町に建立したのが、上町八坂神社の始まりです。天正5年（1577）には、龍ケ崎城主土岐胤倫は八坂神社を根町の般若院から分離して町の中央である現在の上町に移しました。その後、龍ケ崎の領守として、代々の領主と住民の厚い信仰によって現在に至っています。
毎年2月3日の節分大祭では、暦の上ではこの日を境に春が訪れるとされ300余名の年男が集まり盛大に豆まきが行われます。また、1年間神棚に奉ったお札やだるまを奉納し、新しいお札とだるまを揃える習わしもあります。
また、全国各地で行われる祇園祭は、龍ケ崎市でも行われます。上町八坂神社の祇園祭は、毎年7月下旬に3日間行われ、市内最大級のお祭りです。

般若院
MAP G-7
県天然記念物シダレザクラが見事
龍ケ崎市3341
☎0297-62-2270

根町にある天台宗般若院（金剛山観仏寺）は、天元元年（978）に道珍法師によって創建されたとされています。当初は貝原塚町に創建され、その後、大永4年（1524）に現在の場所に移されました。龍ケ崎の領守の八坂神社も、以前は般若院の場所にあり、別当を般若院が務めていました。八坂神社の祇園祭には、般若院の前に御仮屋が建ち、撞舞もすぐそばで行われています。

●シダレザクラ
本堂裏手にあるシダレザクラは、樹齢は推定500年、樹高約10m、目通り幹囲約5m、枝張り東西約15m・南北約22mの巨木です。エドヒガン（江戸桜岸）の園芸品種で、県の天然記念物に指定されています。お花見の時期には、近隣から大勢の人がこのサクラを見に般若院を訪れます。

女化神社の初午
MAP E-5
「親子狐の石像」は市民遺産
龍ケ崎市馴馬町5387
☎029-872-2237

龍ケ崎市の北部の牛久市女化に龍ケ崎市の飛び地があり、そこに女化神社が建っています。旧暦2月最初の午の日に初午、その12日後に二の午が盛大に催されます。

龍泉寺
MAP H-7
龍ケ崎市2877-1
☎0297-62-2373

龍泉寺（東福山水天院）は、龍ケ崎地区のほぼ中央、下町にある天台宗の寺で、一般には「龍ケ崎観音」の呼び名で親しまれています。日光二荒山開基の勝道上人の高弟、蓮雪法印が安産祈願のため淳和天皇の勅を受けた弘法大師作の「聖観世音菩薩」の尊像を山城の国から迎えたのが始まりで、その後天正年間（1573～1592）に後の龍ケ崎城主・土岐胤倫が妻・お福の方の難産に際し、無事出産できたという伝えがあり、今も安産・子育て・出生・開運・除災の観音様として広く信仰を集めており、茨城百景の一つです。水子地蔵は約200体とも言われています。
また7月10日の4万6千日分の参拝をしたことになる功徳日に境内で伝統的に行われている「ほおずき市」では、お参りをしてほおずきを求める人が数多く詰めかけます。

来迎院
MAP G-6
龍ケ崎市馴馬町2362
☎0297-62-3474

来迎院は、本尊は阿弥陀如来の立像ですが、その創建時代については不明です。このお寺は「多宝塔」で知られており、この塔を見るために多くの人が寺を訪れます。この多宝塔は弘治2年（1556）に江戸崎城主・土岐治英が修築した旨の銘文があり建立年はさらにさかのぼる可能性もあります。また、関東・東北地方では最も古い多宝塔といわれ、平成18年には国の重要文化財に指定されました。毎年12月29日には、火防大祭が行われます。

金龍寺
MAP E-5
龍ケ崎市若柴町866
☎0297-66-3469

市の北西部若柴町の丘の上にある曹洞宗の寺です。元享元年（1321）、新田義貞の創建、天真禅師の開基と伝えられています。今も本堂内には新田家の仏壇が設けられ、境内裏手の木立の中には、義貞以下、新田氏代々の墓が残っています。
●絹本著色十六羅漢像（けんぽんちゃくしょくじゅうろくらかんぞう／国指定重要文化財）
曹洞宗開祖道元禅師が宋（中国）に渡って天童山で修行を積み、安貞元年（1227）に帰朝する際に南宋の理宗皇帝から賜ったと伝わるものです。
羅漢図の表現は、繊細な描線で謹直に描かれ、特に服飾に見られる諸色金泥を用いた精巧な文様が特色です。16幅そろった羅漢図の古作として当地きっての作品であり、美術的価値は高く評価されており、現在は県立歴史館に寄託されています。

富士浅間神社の初山
MAP G-8
市民遺産
龍ケ崎市八代町2177
☎0297-62-1303

子育ての「浅間（せんげん）さま」で名高い富士浅間神社の祭りは、旧暦の6月1日に行われます。子どもの健やかな成長を願って、誕生から数え年7歳まで、毎年続けて登山し祈願するならわしとなっています。親につれられた子どもたちは、神社裏手に築かれた高さ34.8mの富士山に登り、山頂の本殿にお参りした後、噴火口を型どったお鉢をひとめぐりして初山参りを終わります。

伊達藩

伊達藩は天正19年（1591）、豊臣秀吉の領地替えによって新たに仙台の地を与えられた伊達政宗を初代藩主とする仙台藩の別称です。
政宗は、慶長11年（1606）に徳川家康から常陸河内郡と信太郡26カ村（1万石余り）を与えられています。現在の龍ケ崎市域の一部は仙台藩領でした。政宗は、龍ケ崎村に陣屋を構えて代官を置き、常陸国における仙台領支配の中心地としたため龍ケ崎は繁栄しました。街道の出入り口には「仙臺領」と刻んだ石柱を建て、治安と防衛のために番屋をおいたといわれています。
市役所近くにある愛宕神社は、寛永18年（1641）に時の領主・伊達陸奥守忠宗（政宗の子）の創建です。伊達家は代々愛宕神社を崇拝し、仙台には京都から勧請した愛宕社が祀られています。幕末に北海道に移住した仙台領民は数多くいますが、いずれの村にも必ず愛宕神社があるそうです。龍ケ崎に愛宕神社を祀ったのも同じで、龍ケ崎領民を火災から守り、さらに村人の行楽地としたのでしょう。

歴史民俗資料館
MAP G-6
龍ケ崎市馴馬町2488
☎0297-64-6227
入場料:無料
開館:AM9:00～PM5:00
休:月曜（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始

龍ケ崎の歴史と民俗を紹介するとともに、市民の教育・文化の向上に貢献することを目標として平成2年（1990）に設置されました。
1階の常設展示は、国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞、原始古代から近代までの資料、昭和の暮らしの道具や民具などを展示、2階の多目的室と体験学習室では、様々な学習活動を行っています。
屋外には、農家の納屋、たばこ屋、水車小屋が建ち、竜ヶ崎線を走った蒸気機関車がランドマークになっています。

関東鉄道竜ヶ崎線
MAP G-6
市民遺産

竜ヶ崎線愛称「竜鉄」。JR常磐線龍ケ崎市駅と龍ケ崎市の中心部を結ぶ、わずか4.5km・所要時間7分の路線です。田園風景の中をのんびり走るこの鉄道、茨城県で最も古い私鉄で、明治33（1900）年に開通しました。単線をのどかに走る「竜鉄」は今も龍ケ崎市民の大切な足です。

旧竹内農場赤レンガ西洋館
MAP E-6
市民遺産

この煉瓦造りの西洋館は、大正9（1920）年に竣工した竹内明太郎（元内閣総理大臣吉田茂の兄）の別荘です。素材にもこだわりを見せたモダンな外観と瓦屋根・土間といった日本家屋の要素とが混在した和洋折衷の装いや、内部で養蚕が行える造りなども含め、非常に個性的な存在です。令和2年（2020）1月22日に竹内家文書とともに龍ケ崎市民遺産に認定されました。

旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀
MAP H-7
登録有形文化財

この煉瓦門・塀は、実業家で第11代龍ケ崎町長を務めた諸岡良佐の自宅前（現在の竜ヶ崎駅近く）に、明治43年（1910）頃に建てられたものの一部で、もとの塀の長さはおよそ35メートルでした。
平成18年（2006）、解体される見通しとなっていた煉瓦門・塀を惜しんだ市民が「赤レンガ保存実行委員会」を組織し、寄付や募金活動を進めて現在地に移築、保存したものです。龍ケ崎を代表する名士の邸宅の重厚な門構えを伝えるもので、平成30年（2018）5月10日に登録有形文化財となっています。

若柴宿
MAP F-5
江戸期の陸上交通路と水戸街道

江戸時代は水戸街道8番目の宿場として多くの旅人が往来し、大坂の曲がりから金龍寺まで500メートル余りが若柴宿です。明治19年の大火で大半が焼失しましたが、立派な門構えの旧家が多く残存しています。また、当時からの巨樹、珍木も多く、かつての名残が随所にみられます。

イベント

たつのこマルシェ
MAP F-8
開催日:毎月第2土曜日
会場:さんこん館前
☎0297-62-2227

龍ケ崎市で収穫された新鮮野菜や物産品が集まります。生産者と消費者を結ぶ場となっています。

まいんバザール
MAP B-11
開催日:毎月第1日曜日
会場:にぎわい広場
☎0297-62-1444

コロッケを多くの人に食べてもらおうと始まったイベントです。コロッケ販売の他、飲食店やフリーマーケットが並びます。

イベント・年間行事予定表

行事名	期日	会場	問合わせ先
節分大祭	2月3日（※立春の前日）	八坂神社	☎0297-62-6284
初午	旧暦2月最初の午の日	女化神社	☎029-872-2237
二の午	初午の12日後	女化神社	☎029-872-2237
初山	旧暦6月1日	富士浅間神社	☎0297-62-1303
ほおずき市	7月10日	龍泉寺	☎0297-62-2373
八坂神社祇園祭	7月下旬の3日間	商店街大通り	☎0297-62-6284
撞舞	祇園祭の最終日	根町「撞舞通り」	☎0297-64-1111（商工観光課）
収穫祭	10月最終日曜日	農業公園豊作村	☎0297-62-2227
つくばね祭（学園祭）	10月下旬から11月上旬頃	流通経済大学	☎0297-64-0001
火防大祭	12月29日	来迎院	☎0297-62-3474
日曜朝市	毎月第3日曜日	にぎわい広場	☎0297-64-1111（農業政策課）

※ 期日は変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせ願います。